京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年　紀元二千五百七十年
本紙定價　▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵稅一ヶ月十三錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
廣告料金　▲五號活字十七字詰一行一圓金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人　高木久馬太
印刷人　松久神一郎
京城西署西小門通（電話六六三）
發行所　京城新報社

外字新聞拓殖局評

東京新聞は拓殖局の新設を以て左のみ重大視せず中には之を以て無用物なるが如く論ずれども外字新聞の論評は大に其見地を異にするものあり「ヂヤパン、ガゼツト」は去る十七日の樞密院會議に於て拓殖局設置の議を可決したる旨を說き日本政府が其國家の膨脹に伴ふ海外發展に關する政策を顯著に發表したる日なりとし該拓殖局の設置は同政策の實行上一歩を進めたるものにして大なる注意を値す從來拓殖といふ文字は一國が其領土を擴張する場合に於ての外用ひられざるものなるも日本政府は今回新設したる拓殖局をして只に樺太臺灣朝鮮に止まらず滿洲に於ける拓殖事業をも管轄せしめんとす但併日本は單に滿洲の一部關東州及び南滿鐵道附近を租借地として管轄するに過ぎずして滿洲は依然淸國の領土なりといふは名義上の區別に過ぎず日本政府が滿洲の經營に此大なる力を傾注し確實なる移民政策によりて其根底を作らんとするは今更ら說明を要せず故に拓殖局の設置は樺太臺灣等よりも寧ろ滿洲政策に關係深きものあらん蓋し小村外相が日本の移民政策は歡迎されざる米國西海岸にあらずして滿韓の開發にありと言明したるも畢竟滿韓に於ける日本移民の成績良好ならず其多數は移住民たる資格なく比較的良好なる移民と雖も未だ以て政府が安んじて彼等の個人的經營に滿韓の拓殖を一任し得べきものにあらず政府當局者は茲に大に鑑みる所あり即ち拓殖局を設けて該方面に對する移民の選擇及び指導開發の一大機關となせり換言すれば日本は曩きに鐵道及び諸種の產業事業を國有となしたる如く今や國民の膨脹發展をも國有的經營事業となし拓殖局によりて之を統一すると同時に亞細亞大陸に向つて平和的追擊を謀るものなりと

日清警官の融和

安奉沿線行政權不備の爲め從來屢々日淸警官間に衝突を來せるが過日奉天交涉使に警備機關に關する覺書を交付し之と同時に尙は不穩の狀態あり大嶺附近にて屢々衝突を來したるも其後交涉使に於て該沿線各警官に對し覺書の內容を訓示する所ありたるが近來淸國警官の態度一變し從來の如く無法の擧動をなさず停車場構內には用事の外無斷立入る如きことなきに至りたるを以て目下日淸警官の間は頗る平穩の狀態なりと

日露間の貿易額

日露貿易の現況なりとて露國新聞の揭ぐる所に依るに日露貿易額は徵々として偶然的性質を帶ぶるに止まり其利は日本にあり千九百八年兩國の貿易總額六百七十萬留なりしに內五百七十萬留（即ち總額の八割五分）は日本より露國に輸出したるものにして露國より日本に輸出したる高僅に一百萬留のみ日本に輸入せる露國石油は目下殆んど蘇門答剌より輸入の石油に代へられたるが輓近露國石油の輸入額は殆ど二十萬留に達したり戰爭前日本に露國砂糖を輸入したるものありしが其輸入高（價格にして一万八千留）は目下爪哇嶋より輸入する砂糖及び日本內地產の砂糖に壓せられて全く減少したり日本より極東露領に對する輸出高も千九百八年以後減少したるが是れ獨り露兵滿洲撤退の爲めのみならず自由港閉鎖に依るものにして之が爲め總体外國品の沿海州輸入は減じたり云々

臺灣の無線電信

臺灣富基角に無線電信垂直線電柱を設備されロイド會社と連絡し深水郵便局より各地へ發信することゝなれり同電柱は高さ地上二百三十尺にて既に本年三月中に建設を了りたるも所要機械類の前年度內に到着の運に至らざりし爲め終に年度繰越のことゝなれり而して今日にては右機械の大部分は既に運搬結了せしを以て本月二十日より再び工事に着手したれば七月迄には裝置工事竣成の豫定なり此無線電信の發信勢力は四キロワツトのものにて其の有效通信距離は果して幾里に達すべきやは周圍の遮蔽物其他の關係上試驗後にあらざれば確定せざれど冬季に於ては夜間等の通信には內地方面へは略一千海里の距離に通信差支なき見込なりと

●淸國連山築港計

錫東三省總督は非常の熱心を以て葫蘆島連山港を改築するに決し已に李統領を錦西縣に派して同地買收の交涉を開始せしめたる由錫總督は曩に米國の技術家をして同灣の調査をなさしめたることありしが一再ならず最近復英國技師シユース氏をして實地測量をなさしめたる結果載度支部尙書の內諾を經て差當り外債四百萬兩を募集し三箇年計畫を以て應急設備をなし兎も角一の商港を修築することゝなし後日機を見て更に八年計畫を立て灣內の浚渫長堤の築造をなす豫定なりと

地方通信

●木浦居留民團衛生事業

木浦居留民團にては同港の發展に伴ひ着々諸般の完備を期しつゝあるが其內衛生事業の最近經過を聞くに▲避病舍は各國居留地會より引繼ぎたる後諸種の修繕を加ね萬一の際に於ける準備を整へたり▲共同墓地は從來區劃判然せず不整理なりし所此程來區劃を整理し新に看守人を置き其管理に任じ又居留地會より墓地に至る迄の道路を改修したり▲火葬場は二個の竈中一個は破損して用を爲さゞりし處此程之を修繕し又周圍に塀を設けて看守人の監理を一層之を嚴密にすることとせり▲市內糞尿塵芥の掃除は過般各國居留地會より全南農會に委托し來りし處此組織にては居留地外の民團區域は掃除行屆かず其統一を缺くものあるより來る七月一日後は民團の手に移る筈にて其結果は巡視員を一名新任することと成るべく民團區城內の市街は之にて統一せらるゝこととなるべし▲民團囑托醫院は居留民團より年額二千七百圓其他を併せて約三千圓の補助を爲し以て其完全を期しつゝあるが尙ほ近々居留民會の協贊を經て病室の增築を爲す筈也其內容は現在既に數個の病室あるも尙ほ不足を告ぐるものあるより傳染病以外の感染性患者を收容し併せて普通入院患者兼用とする爲め三十坪の病室及び三坪の塵芥汚物燒却場を新築する筈にて之れが財源は往年皇太子殿下より七百圓有栖川宮殿下より三百圓計一千圓を衛生基金として當民團に下賜されたるものが今日利殖を合せて一千百圓[illegible]れるに付之れを[illegible]り千三百圓を補助し合計二千四百圓の費用を以て新築する計劃なり右增築の上は先づ囑托醫院として[illegible]目下居留地外に在り未だ完全せりと認むべからざるに付近々之れが修繕に着手する筈にて其財源は前年度繰越金約七八百圓を以て之れに充てらるべく之れを以て同民團に於ける衛生事務は大略完備する筈なりと云ふ



俳句

◎夏（植物）五句　多田千春

たゝら踏む音は鐵錆か若楓
卯の花や薄月ながら雨の降る
[illegible]替ゆる小家哉
何の木も皆惜からぬ若葉かな
氏神は矢の根と聞くや椎の花

講談

大岡政談　第九回　越後傳吉　旭堂南陵講演

傳「ハアお前樣のお宅は……」娘「アイ、彼所でございますから、どうぞお泊りを願ひます、お旅籠代もお安くして置きますので」傳「ア、さうかね」斯うやつて曳かれて見ると、無情に振放すこともも出來ない　傳「それでは御厄介に相成りますから」娘「ハイ有難う存じますどうぞ此方へ……」先きに立つて參る娘、奧へ入つて汚ない盥に水を一杯汲んで來た　娘「サアどうぞお足を……」傳「イヤどうぞ構はないで置て下さい、私が勝手に洗ひますから、御厄介さまでございます、草鞋を脫で足を洗ひ　傳「どうぞその草鞋はその儘置て下さい、また穿けますから翌日また穿く積りで……」娘「ハイチヤンと此方へ掛けて置きます」トン〳〵と二階へ昇るといひたいが、此所の家の二階は餘程舊いのと破損んでるから、ミシリ〳〵、メリ〳〵、メリ〳〵と來た危ない二階で、すると居室は大部ございますが障子唐紙などは汚れては居るし破れても居る隨つて疊なども何日布換へたかと思ふほど汚ない　娘「誠に汚穢しうて相濟ません」傳「ナーニ、私等アそんな事は搆はねへでがす百姓でございますから」娘「ア、お客樣、生憎風呂が損じて居りますので、此筋向ふに風呂屋がムいますから御案內いたしませうで、どうぞ風呂へお入り下さいまし」傳「イヤイヤ、ナーニ風呂など入らなくつても宜うございます、此儘で宜しうございますから、御飯を頂きます」娘「ハイ左樣でございますか、それでは直ぐに御飯を持て參ります」階下へ降りますと漸う御膳を拵へて來た旅籠代は並旅籠代で食物も不味い、お汁に一寸した下地附の物に跡は澤庵、娘の給仕で御飯を食べてしまひました　娘「お客さん、お寢みになりますやうなら床を延べて置きます　傳「ハイ、イヤ有難うございます宵から寢ちやア濟まぬけれども、別に用もございませんから橫にして頂きませう　娘「それでは床を延べて置きませう」何日洗濯をしたか、何日縫直したか分らない綿の固くなつた、薄ッ片な蒲團を其所へ敷いてくれた　傳「イヤどうぞもうこれで宜しうございますから　娘「ハイ、どうぞ御緩り御寢みを……」其の儘階下へ降て行く　傳「ヤレヤレ斯うやつてマア泊めて貰つたやが、翌日の朝又暗ね中に立て行くだ……ハテナ此所の家ばかに泊りが少ねへな、先刻から斯うやつてるが誰も泊らねへぞ、これだけ廣い二階に私が一人と見ゑる淋しいな、二階はシンとして居る流石に傳吉何だか心淋しくなつて來たそりやアさうでございませう、廣い二階に人聲がしないのですもの其上に破れた障子や黑く燻つた疊や襖　傳「ア、エライどうも氣味が惡いな、コリヤア此所の家は家內も少ねへだのう、旅籠屋さんといふものは四人か五人の家內のあるものぢやが、私が泊る時に宿引をしたのが彼の娘さんだ、洗足の水を取つてくれたのも彼の娘さん、案內して呉れたのも彼の娘さん、御飯のお給仕も彼の娘さん、床を延べてくれたのも彼の娘さん、彼れ一人で何も彼もやつてくれたんだ入つて來た時に帳場にも人が居ないから何所にも居さうなではない、人といやア彼の娘さん一人だけだつたぞハテ氣味の惡い話しだアイヤに陰氣な晚だのう……ア、失策た兩便場を聽いとくのを忘れた、旅籠屋へ泊つたら一番に兩便場を聽いとくもんぢやつたが、エライことをした、二階にはねねな、階下に違へねへだ、ハア彼所が裏の梯子か彼の梯子を降りて見やう、さうすりやア乾度あるだらう」自分で考へました傳吉ミシリ〳〵と裏梯子を階下へ降た、壞れ掛つたる廊下をばミシ〳〵、シンとして居るからアーアといふ呻吟の聲　傳「エッ氣味が惡い、何だやな今の聲は」アハッハ、ゝゝと嫌な笑聲　傳「アー氣味が惡い、何か笑つてるぞ、何だらう」と傳吉は思はず立ち止まりました



東京電報

▲文部省新事業

文部省の四十四年度新事業の重なるものは前年度豫定計畫たる上野美術學校空地に公設美術館の新設及明年度に於て第一工事に着手すべき上野圖書館の增設其の他福岡大學の獨立なり

▲陸軍省の豫算

寺內陸軍大臣來月渡韓九月まで滯在するを以て豫算編成に就きても大体の方針は渡韓前に確立し置く必要あるを以て目下石本次官以下各局長は每日大臣室に參集し講究中なり(廿九日)

▲爆彈事件眞相

過日來社會主義者續々檢擧せられ可恐爆裂彈事件も事の未然に發見せられ大牢獄に就きたるが事件の內容は誠に戰慄すべき陰謀にて彼れ等は我が國體と相容れず如何に不逞の徒なるを忖度するに難からず當局者も今日の如き形勢にては更らに峻烈なる防遏手段を執ると同時に一方に於て不法若くは煽動あるもの〻跋扈を押へて社會主義者の横暴を絶たん事目下の急務にして又彼等の勢力たるや侮る可からざるものありて日本より超へて英、佛、獨、米、各國有志と運動上の連絡を計りつ〻あり(同上)

▲統監駐韓期間

寺內統監は來月上旬渡韓の上諸問題を解決する爲め約二ヶ月半滯在し九月中旬一旦歸東すべし(同上)

▲統監と隨行者

寺內統監は愈來月中旬出發赴任の筈なるが兒玉伯爵同夫人小松外務部長中山書記官菅野中佐藤田大尉隨行し有吉總務長官は目下脊髓病にて治療中なるが多分統監に隨行赴任すべしと(同)

▲國民黨調查會

國民黨にては政務調查會各部正副部長を左の如く選定せり(同上)

第一(外務拓殖)部部長　大石正巳　副部長　服部綾雄
第二(內務)部　部長　犬養毅　副部長　齋藤宇一郎
第三(大藏)部　部長　武富時敏　副部長　藤井善助
第四(陸海軍)部　部長　河野廣中　副部長　石田仁太郎
第五(農商務)部　部長　箕浦勝人　副部長　鈴置倉次郎
第六(遞信鐵道)部部長　仙石貢　副部長　水野正巳
第七(司法文部)部部長　島田三郎　副部長　高木益太郎

▲警察官大淘汰

韓國警察權委任に伴ひ現在に於ける本邦警官千三百名韓國警官二千八百名餘は全然罷免せらるべく右淘汰は初め邦人警官より着手する筈なり(同上)

▲木內宇佐美兩氏

木內農商工部次官は二十九日宇佐美內部次官は三十日を以て東京出發渡韓の途に就くべし(同上)

▲憲兵練習卒業式

憲兵第十二回將校下士學生六十八名の卒業證書授與式は二十八日午前十時より憲兵練習所に於て擧行され畏き邊よりは特に侍從御差遣あり優等生

東城憲兵隊附憲兵大尉　長谷場巖
大阪憲兵隊附憲兵伍長　林久松

の兩氏に懷時計を下賜されたり(同)

▲全國荷造共進會

本邦貨物包裝改良を期する爲め大阪商業會議所主催となり來十月一日より十一月四日迄大阪市に於て第二回全國荷造共進會を開催し當業者をして一層其改良を促進せしむる由(同上)

▲井上理事の敍勳

佐賀縣知事の現職を有する東拓理事井上孝哉氏は勳四等に敍し瑞寶章を賜はりたり

▲動物會議出席員

文部省に於ては八月一日墺太利に於て開催の第八回萬國動物會議並に白耳義に於て開催の萬國昆蟲會議には歐州差遣中の農科大學敎授佐々木忠次郎氏を參列せしむる事に決せり(同上)

伯林電報

▲伊國飛行艇隊

伊太利議會は飛行機艇艦隊建造費一千萬リザーの支出案を可決せり(廿八日)

韓皇后と日本語

韓皇后は昨年來熱心に日本語を御勉强中なりし由なるが近時著しく御熟達あらせられ日常の御談話には少しも御不自由を感ぜられざる位に進ませ玉ひたりと而して皇后は女官等にも日語の勉學を奬め玉ひたる爲め各女官も吾れ劣らじと日夜勉學に努めたる甲斐ありて女官の多くは何れも上達し皇后には每日の御挨拶は勿論其の他の御用名も多く日本語を用ひさせ玉ふ由小宮次官夫人其の他日本人官吏の時々參內御機嫌を伺ふ際なども日本語を用ひさせられ今日は好い天氣ですね御宅は皆變りはありませんかなど仰せらる〻由爲めに宮中に於ける日本語の流行益々旺也ど

滿洲居住權利問題

錫總督は嚢に同省諮議局に向ひ滿洲開放地以外に於ける外國人の居住禁止法案を提議せしむべく之が調査を爲さしめたりとの報ありしに更に亦同總督は各地方官に對し開放地外の居住外人を退去せしむべき旨を內命せりとは既報の如くなるが右に就き外務當局者の語る處に依れば該問題は淸國政府が抗州其他南淸地方に於ける開放地外には外人は居住するの權利なしと主張するものと同性質のものにして其退去を迫り來りしことは一再に止らず而して開放地以外に外人の居住權なしとは條約に明記しあるものなれば淸國の主張は當然なると共に我に於ても之を認め居りて從來淸國の交涉に對しては我領事或は外務省に於ても直に居住者に立退を命せんには彼等は忽ち衣食の途に窮するを以て漸次之が立退を警告すべき旨回答を與へ居るものにして既に居住者にして正業に從事せざる不正行爲のありしものに對しては之が立退を命じたることもありて現在開放地外に居住する邦人は左程多からずと云ふ

拓殖と交通機關

內田拓殖局部長の談に曰く拓殖局が如何なる方針により其の事務を處理すべきやは何れ近日中總裁より訓示あるべきが同局新設の趣旨は臺灣、樺太、韓國、關東州の行政廳と中央政府との中間に立ちて其の連鎖となり從來不統一なりし拓殖事業の統一を圖るにありて恰も一面拓殖上の參謀本部たると同時に又電話交換局とも云ふを得べく之れが設置によりて各省は勿論前記各行政廳の權限には何等の影響を及ぼす事なし拓殖事業中最も急務なるは其他の交通機關を整備するにありと信ず交通機關の整備を俟ちて始めて文明進步の域に達するを得べく獨逸が淸國に於ける租借地靑島の經營をなすに當り鋭意同地交通機關の整備に力を用ひつ〻ある如き注目に値するものと云べし云々

淸國鐵道と滿鐵

今回奉天諮議局の可決したる奉天海龍府間鐵道敷設の議は、地方有志に依り年來屢々主張せられたる所なるが其都度資金の調達に窮して敷設を中止せり然るに這回の建議は多少其の根底を具備するもの〻如く或は資金を外債に仰ぎて愈々敷設に着手せんも知べからざれども僅々百哩の距離に對し其の經費は百數十萬圓を要し又本線竣工すと雖も旅客は殆無にして僅少の農產物を輸送するに過ぎざれば收支到底相償はざるべし猶ほ本線は稍々滿鐵に併行すれども其の受くべき影響の如きは殆んど云ふべき價値なしとなり

李完用氏の歸京

久しく溫泉に加養し以て時局の形勢を觀望せる李首相は山縣副統監も已に就任の途に上れることゝて二十八日午後三時溫陽を發し同八時二十三分西大門驛着直ちに苧洞の本邸に入れり局面展開に就ては兩宮も痛く軫念あらせられ當地溫陽間の勅使頻繁の模樣なりしが同夜も歸邸するや直に昌德宮より侍從李甲承德壽宮より侍從李龍漢を勅使として差遣され優渥なる御諚を賜はりたりと

警察廢止の發表期

警察事務委託に伴ふ韓國警視廳官制廢止並に警察事項削除の件は統監府官制の發表其の他諸準備の都合上三十日までは發表かるべく多分七月一日となるべく同時に統監府警務總監部官制の發布を見るべしと當局者は語れり

●國有地調查と人心

去る二十五日漢城財務監督局主事坂井有親他三名京畿道楊州屯夜面及び海等面地方國有地調查中該兩面の人民約三十名其附近に集合し該土地は民有地なりと稱へ同主事の說明を肯せざりしを以て議政府憲兵分遣所長は面里長他重立たる人民を集め懇諭の結果集合民衆は平穩に退散したりと

●各大臣首相邸會合

別項の如く二十八日夜李首相の歸京せんとするや途中再び李在明の如き暴漢の現はれんことを慮りて發着は頗る秘密にして各大臣は勿論其他の官吏一人も出迎したる者なかりしが各大臣へは豫め歸京を通知したる爲め同夜八時半頃より趙農相を先登に各大臣は首相邸に會合して深更迄時局に付凝議したり

●仁川裁判所の新築

仁川區裁判所及び京城地方裁判所仁川支部の新築工事は客月花町裏手蛇洞に起工後既に地均しを終り本廳舍木材の構成も了せんとし居れば遲く共九月末日迄には竣工すべしと尙ほ總坪數は六百八十坪にして建坪本廳舍八十三坪附屬建物五棟の建坪二十八坪五合工費は材料官給にて六千圓餘なりと

●合同紀念スタンプ

來る七月一日各郵便局に於て日韓通信事業合同五周年紀念特種通信日附印を使用各種引受郵便物に押捺し尙は一錢五厘以上の郵便切手を貼付又は添付せる郵便物以外の物件にも特に押捺方希望者には同日より四日間便宜捺用すと

●憲兵二將校の召集

平壤憲兵分隊附憲兵中尉矢野助藏大邱憲兵分隊附憲兵中尉井原德松の兩氏は今回明石司令官の召命により二十八日入京山本旅館に投宿二十九日兩氏共に司令部に登廳せり

●大東共報押收さる

浦潮にて發行せる排日紙大東共報第廿七號廿八號は治安妨害と認められ內部大臣より發賣頒布を禁止されたり

●出給命令紛失處理

出給命令及集合出給命令通知書盜難紛失處理順序に關する件二十九日度支部令第二十三號を以て發表されたり

●趙農相統監府訪問

農商工部大臣趙重應氏は廿八日午後統監府を訪問し石塚參與官と會見したり

●鈴木局長の招宴

鈴木關稅局長は稅關會議に列席したる各稅關主事を廿八日午後七時京城ホテルに招宴す

●稅關會議の結了

過般來關稅局に於て開會中の稅關會議は廿八日結了す

各地の稻苗植附(一)

韓國に於ける本年の稻苗植附の狀態は雨量の關係上一般に早苗の發育を害したるも先般來の潤雨にて稍や復活の勵機を與へ既に大部分の植附を終了せるもの〻如し左に記するは仁川日本人商業會議所が各地の官公衙其他金融組合等に照會せる回答なり

▲龍山●　本年の米作植付の狀態は先日來の降雨に依り目下挿秧最中なり▲烏山●　過般來の潤雨にて遺憾なく最早全部植付終結したり▲馬山●　過日來の潤雨殊に當地方は雨量多く既に大部分の植付けを了し其成績良好なり▲公州●　本年は稻の播種期に際し兎角雨量不充分の爲め多少發育を害したるも先般來の降雨にて目下挿秧中なれども就中水分に乏しき山田の如きは尙ほ爾後降雨なきときは挿秧上多少困難を感ずる狀態なり▲全州●　一時は植付難出來一般に憂慮し居りたるに二日間に亘る豪雨の爲め潤深なる灌水を得大部分終了他は目下準備中なるも旬日を出でずして終結を告ぐることゝ信ず▲永同●　稻苗挿秧の件は本年四月下旬以降六月上旬に至るまで降雨なき故農民は灌水缺乏の爲め苗代を設備するに尠からざる困難を感じたれど本月上旬に充分なる雨量ありたれば農民は先を爭ふ如き勢を以て挿秧に着手せり目下管內を通じて約八分半位挿秧を終了せり殘りの一分半は近日中に終了するならん日每に盛に挿秧しつ〻あり▲群山●　過般來の降雨にて目下頻りに挿秧中最高地を除くの外は半植付し居れり▲江景●　稻作狀況に就では一時用水不足を感ぜんとせるを以て多少の憂慮を以て迎へしと雖も先般來數度に及びたる潤雨は此等の憂慮を霧散し當地方は之が爲め殆んど其植付の大部分を了したるの狀況なり▲同上●　別報に依れば江景地方の稻作は播種の際より適當の水量ありしを以て苗の發育極めて良好なりしのみならず挿秧の時機に於ても水量の不足を告ぐることなく昨今各地共無事植付を了せり加ふるに過日來の潤雨は充分の水量を與へたるを以て目下稻作に付ては憂慮すべきを全くなし▲忠淸南道●　本年稻作植付は過般來の潤雨にて既に挿秧に着手し最早三分以上の植付を了し目下着々進捗中に有之本月中には殆んど結了を見るに至るべし▲天安●　當地方本年稻作植付の儀は近來の潤雨にて一般苗の發育は頗に復したるが如きも未だ以て雨量潤澤ならざる爲め植付には至らず今尙は降雨を希望し居る者の如し而して川岸若しくは泉源地は多少植付を爲したるも他は數十日旱天の爲め秧挿するに至らず▲溫泉里●　本年の稻作植付に就ては郡內一般降雨少量にして植付を實行するに至らず全く一般の農況は甚だしきものと認む本年の米作は此分にては皆無となり今後十日以內に於て多量の降雨あらざるときは實に見るに忍びざる情況を呈するに至らんと一般憂慮の狀態なり▲大田●　稻苗の伸長は平年より稍々劣れるも基葉は丈夫なり挿秧は六月中旬より着手し昨今三割通り植付を了し本月末日迄には八割通り植付の見込但し現今水量充分なるも作業日數茲一週間を要するを以てなり尙他の二割は今沽く降雨を待つもの多し▲安城●　先般來多少の潤雨ありしも當地方は尤も少量の降雨にして稻作の挿秧し得ざるもの七八分通りに及べり▲平澤●　本年の稻作狀況は一、稻作植付反別七步通り一、稻作植付出來ざる分三步通り但し水不足の爲め▲忠南日勢村●　降雨以前當地方に於ては植付を了したるは僅かに水利の便好き山手に添ひたる部分約二割及江、川に添ひたる一分に不過一般農家は頗る憂色にてありしが十三日降雨ありし以來二三日間の霖引續き十九日以來の降雨にて既に同耕地の三分の二の植付を終り今後一回の豪雨あらば全く挿秧を了するの見込

●韓全國園藝品評會

韓國中央農會に於ては產業獎勵の一端として來る九月廿六日より十月二日迄一週日に亘り所謂天高く氣澄みて累々たる菓果其の豐美を競ふの秋をトし普ねく全國の生產品を蒐め第一回園藝品評會を京城に開設する筈にて目下準備中なるが出品種目は左の如し

△果實　葡萄、梨、苹果、桃、柿、栗
△蔬菜　蘿蔔、胡蘿蔔、牛蒡、蕪菁、馬鈴薯、甘藷、里芋、薯蕷、薑、番丹、葱頭、菜類各種、菠薐草、チサ、茄子、甘藍、南瓜、茄、蕃茄、蕃椒、枝豆、菜豆、鵲豆
△種苗　果樹苗木、蔬菜種子

尙ほ參考品として園藝に關する經營及作業の方法、成績並に有益、有害動植物の標本、圖書其他園藝上參考となるべきものは器具ミ圖案とを問はず總て出品する由

●乳牛種の一般賣却

昨年農商務省七塚原種畜牧場長橋本氏が種牛購買の爲め歐米へ出張の際英國に於て購入したる乳牛種エーアシャー種の牡牛一頭は今回賣却する事となりしが同種は强健にして泌乳多量なる上管理飼養も至極容易にて寒地に適するを以て韓國の如き土地には最適種なりとす目下乳牛も增加しつ〻あり如斯良種牛を輸入するは利益尠からざるべしと云ふ其の價格は七百圓にて運賃は買却者に於て負擔する由希望の者は農商工部畜產課三田嘱託迄申込むべし

●三憲兵少佐の昇任

二十八日其筋に達したる公電によれば左記韓國駐剳三少佐は何れも二十八日附を以て中佐に昇任せりと

駐韓憲兵少佐從六位勳四等　藥師川常義
同　上　石井權藏
同　上　吉弘庚

任陸軍憲兵中佐(各通)

●京城居留民團開會

京城民團にては廿九日午後七時より民會を開き民團職員の橫領金に就き私訴をなすことを附議する由なるが二十九日の會議が京龍合併前に於ける最後の民會なるべしと云ふ

●港灣狀態印刷配布

岩崎仁川民長及靑木商業會議所副會頭が曩に內地に於ける港灣狀態を視察し歸東報告會を開きたる由は當時詳報し置しが右報告を印刷に附し各港視察報告書と題する美本として廿九日夫々關係者に頒布したりと云ふ

●仁川會議所の總會

仁川商業會議所總會を明一日午後七時より開き會頭及び副會頭當職員の改選を執行せらる〻筈なるが現在の加來會頭靑木副會頭再選すべき模樣に見受り

●水野參事官の旅程

水野參事官は三十日仁川視察一日農商工部度支部工業傳習所日韓各學校を巡視二日朝出發大邱へ赴き三日同地發馬山へ立寄り四日釜山滯在五日歸朝すと

●仁川民團病院引繼

仁川民團立病院は既報の如く廿九日限りにて民團の手を離れ長尾乙二氏の經營に屬する筈にて院長醫學士其他の醫員は同役當任せし筈なり

●水野博士の水原行

水野內務省參事官は二十九日水原に赴き本田博士の案內にて勸業模範場農林學校等を視察し夕刻歸京せりと

●若林前總監の來京

警視總監より奈良縣知事に轉任せし若林賚藏氏は事務引繼及家族引纏の爲三十日午後八時十分南大門着入京すべし

●木內參與官の出發

東上中の木內農商工部次官は三十日出發馬關にて山縣副統監と會合二日出發の光濟號にて歸韓すべし

●石井少將下關出張

石井少將は山縣副統監一行出迎の爲め二十九日午前九時南大門發列車にて下の關へ向け出發せられたり

●本田幸介氏の入京

水原模範場長農學博士本田幸介氏は二十八日入京巴城館へ投宿し別項記載の如く水野參事官と共に歸原したり

●京城民團會計檢查

京城民團にては來月早々四十三年度民團會計の第一回檢査を行ふ由なり

●石塚參與官の靜養

石塚參與官は胃腸病の爲め今尙は官邸に引籠靜養中なりと云ふ

●岡喜七郎氏の訪問

岡鳥取縣知事は廿九日午前十一時石塚參與官を官邸に訪問したり

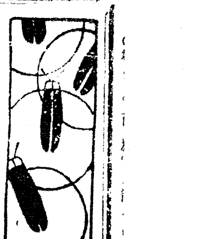
會議所議員の選擧

(三十日午前八時より)

京城日本人商業會議所議員の半數改選は愈々三十日午前八時より會議所樓上に於て選擧投票を行すべきは既報の如くなるが現在選擧有權者は六百八十八人にして內一級九十八人二級五百九十人なるが當日は二級選擧投票は午前八時より正午十二時迄投票一級は午後二時より同四時までとし立會人は委員長に中村理事總通譯委員に中村再造、池田長兵衛、近藤佐五郎の四氏理事官より指名さる因に選擧投票用紙は同會議所にて交附すべし

▲治外法權▼

大隈伯の國民讀本が大分世人に讀まれる樣だ、之は甚だ結構の事だ、ドウか讀本の精神が國民を感化するようにしたい▲先立て記者が早稻田を訪ひし時老大伯は下の如く言つた、曰く私も永い間政府や政黨に關係して國利民福を計らんとしたがドウも思ふ樣に行かぬ、段々考へて見ると政治の力で國利民福を計らんとするのは末の事で國民の精神的改造が[illegible]來だ▲寺內統監曰く治韓は大事也新聞紙亦銘々の私見に走らず筆法統一を望むと、治韓が大事なればこそ新聞紙の議論も必要なれ、筆法の統一とは何の意味か▲今や歐洲では乘合飛行船が空中を駛つて居る、ソレに我半島では馬車さへ碌々出來て居らぬ、東西文野の差も茲に到つて泣きたい程だ▲前內部次官の岡が事務引繼の爲ヤッテ來たのは責任を解せる行爲として聊か嘉すべしだ、左遷とか右遷とか下らぬ評をするのは世間の勝手だ、岡たる者須らく男らしく堂々と振舞ふべしだ▲平壤に讀書會が出來た、讀書は人生に取つて最も必要の事だ、殊に韓人の模範たるべき使命を有する半島在住の同胞にとつては最も必要の事だ▲京城の此頃は東京趣味が大分多くなつた、東京相撲、東京落語、東京料理、東京壽司、東京蕎麥、此分で行くと本年中には何もかも東京になつて仕舞ソウだ▲朝鮮日々の人物漫評は逐號面白くなるようだ、筆者の何人かは知らぬが僅かに京城の紙價を高からしめた。



岡惚藝妓に引導

▽梅の花を慕ふ松葉の駒江
▽駒江を慕ふ京城座の金澤

東京府生れの石川はな（二五）と云はど書き出すと何んだか行倒れの記事ででもあるかの如く思はれるが實の處然に非ず昨年七月れ精靈棚が引き込むと入れ違ひに化けエーーヂャないへイ今晩はと南山町は梅葉亭より駒江と名乗つて顯はれたる藝妓の本名なるが此の妓生れ付いての酒好きにて二升までなら何時にても厭は申さず更にれ肴がれ力まんならモウ一升、役者とでも五合は餘計に行れると云ふ物凄くも又恐ろしき女なるが今回東京大相撲一行の當地に來ると噂がチラホラ立ち初めた頃より顎を長くして待つた甲斐あり愈々二十五日より開場初日は中檢番の總見と定つた時の喜びと云ふものは無いと思つて巾着の裡に五十錢玉を三個が所見付けた程にて何時も褒めた事の無い女將にさんを付け眞正に親方夫婦は分暁てるよ此樣好い親方衆は他にはないよ粗末にしちやア濟まないねバチが當るよ大鼓や三味の如にサど月並の洒落迄列べて嬉しがつてた位なれば當日の意氣込も又非常にて早朝より相撲小屋に乘り込み血眼になつて騷ぎ回つて居たり然るに茲に京城座出勤の壯俳に聊か人聞に似た所ある面を持つてる金澤常吉（二五）は駒江の情人となり居る者なるが同人の角力狂人なるを氣遣ひ秘密見張りの爲め角力場に藻繰込んで勝負などは其所退けにし駒江の目元斗り注意し居たるに二十五日は入掛けとなつたのでヤレ安心と引き退り二十六日も早朝より駒江監視に從事中運よく便所の側にてバッタリ出會ひしにぞ駒ちやん浮氣をしちや厭だよ詳細は手紙で上げるからと右と左に別れたるも駒江の方では上の空アイよ／＼と白痴が居に乘つて混雜の中を行く樣な返辭をして居たことゝて借番數も追ひ／＼と取り進みて梅の花の奇麗な所を見た駒江は金澤さんよりは奇麗だねヱと伴れの藝妓に密語たるに人の惡い伴れの女は然うともサ金澤さんより醜けりやア人間ではないと烈しい奴を嚙ませたるも一切夢中の駒江は本統だねヱと目尻を下げ顎を突き出して居た態は二タ目と見られた者でなかりしが樓へ歸つてから急に自分の部屋に引き籠り思ひの丈けを筆に言はせて梅の花へ呼出し掛けての大騷ぎとは知らう樣なき金澤が約束通り寄越した手紙は封も切らず梅の花が好いのよ梅の花がご岡惚れ峠の頂上、續鉢立をして居るとか初鰹に似た江戸力士を釣るには少々餌が强い金澤所が身分相當と悟らない如だから誚へて行る、南無デモ藝妓頓生菩提。サーン

此奴馬鹿か横着か

▽何うで正直な奴ではなし

强窃盜など賊の手段に差ある如く盜人の心にも横着なの太々しいのと種々あるは云ふ迄も無けれど此奴は馬鹿か横着か判らざる曲者を紹介せん原籍は大坂北區上福島中一丁目五百六番地の一笠島房五郎（三七）といふ者なるが去頃は京城に住び居しも生來の横着者とて相手にする人も無かりしものか韓內地をノタリ廻はつて見しも何の獲物も無き事は知れたことゝて又も京城に逆戾つて荒してくれんの量見遅しく南韓の或所より船にて仁川に向ふ途中船は濃霧の爲め仁川沖の八尾島に假泊せしにぞ同船の龍山元町一丁目石炭商保高德松及全羅南道南平郵便取扱所長倉本百一郎と同船の誼とて何時か心安く言葉も交すことゝなり三人が持合せの酒など取出して杯の獻酬に益々打解けし隙を見て保高倉本兩人が所有の金品をチョロマカシたるまでは普通の賊の所爲にして船の愈よ仁川に着するや直に行衛を晦ますが原則なるに笠嶋は口押拭ひ氣振りも見せず三人打連れて仁川に上陸し原金旅館に憩ひ汽車にて龍山に着するや倉本と共に保高の家に一泊させて貰はんと押懸け行きしが倉本は既に仁川にて所持の金品紛失せしに心づき笠島に嫌疑をかけ居りしに保高は又歸任の後初めて所持金の紛失せしを發見して一騷ぎの揚句笠島が信玄袋の中より倉本の所持品現はれ出でし爲め騷ぎは愈よ大きくなり遂に警官出張して龍山警察署に引致し取調べに依て笠島泥を吐きしが横着で馬鹿らしき奴なり

京城ホテルの不取締

▽大關駒ヶ嶽の遭難

目下來城中の大角力一行西方大關駒ヶ嶽は京城ホテルに投宿し居れるは讀者の知り悉されたる所にて又同人が同所に於て廿七日夜窃盜に盜はれ

千圓以上の物品及現金七十圓餘を窃取せられたる事は廿八日發行の各社の紙上に報導せられたる所なるが本社は當夜の情況に付き京城ホテルに問合はせしに委細を知れる

主人其の他の者が不在なりとて說明を避け

倘ほ被害者が他出中なりしや否やを問ひたに對しても又た頗る

曖昧

に初めは他出中なりしと云ひ次には如何なりしか判然せずと答へたり大切なる客人が千圓以上の金品を盜まるゝ

大事件

を其の一家の者が時刻も現場の模樣も發見の順序だも係りの者が不在なりとの口實の下に

聞き及び居らずと放言

するに至つては沙汰の限りと云ふの他なし、本社が聞き及ぶ所に依れば窃取されたるは二十七日午後八時より十一時の間にして發見したるは廿八日早朝の事にて同夜同人が花月に招待せられたる

不在中

の出來事なりと此れに付駒ヶ嶽は或人に語つて曰く「金錢は僅かだから何うでも宜いが彫付金時計は或る贔負客より紀念として贈られたる特別製の品なれば此れ計りは代價を拂つて買ひ戾したい程に思ひます」と言ひ居れり犯人が奈邊に潛そめりやは兎に角同ホテルは

不取締不用心

の譏りは免るる能はざるべし今回の事も同ホテルが常々主人本位にして客人本位ならず客人携帶物品の保護に重きを置かざるより生じたる出來事と見るを得べし其筋にても目下秘密に搜査進行中にて犯人檢擧に焦慮し居れり

戀仇韓人の殺人

△甕の中へ逆に突き込む

忠淸南道鴻山郡大也面上島里農業金文五履八金黃龍（二一）は近隣なる金東孝方雇女石月先（二〇）と深き情を結び夫婦の約束迄なし居りしに同人方雇男尹君達（一七）も石月先に戀慕し君達の親と石月先の親との間に於て石月先を君達の妻に許嫁する所となり最近に於て婚姻の儀式を行ふ可き旨の話を聞き大に憤慨し君達を除去せざれば情婦石月先と夫婦になる事能はざるべしと思ひ君達を殺害せんと決意し本年舊四月八日の夜石月先と密會し歸宅の上尹君達に出會し是非談判し度き事ありと稱し連れ出し人里遠き小松原迄連れ行き小麥畑の邊に不意に君達を押倒し頸部を双手で掴み彼れが死に瀕し苦悶し居る所を人里ある所迄引きずり行き金正敬と稱する者の便所の甕中に逆に押し入れ殺害の目的を遂したる廉にて本月三日公州地方裁判所に於て死刑に處せられ控訴中の處京城控訴院に於て却下せらる

●韓人の少女强姦　仁川支那町一丁目居住の濱野喜壽雄長女爲子（七）と云ふは廿八日の午後花房町二丁目郵便所裏手の雜草繁れるが中に於て何者とも知れぬ韓人に强姦せられ哀れや未だ咲かぬ蕾の身を可惜慘風に散らしたるより父なる人は親子の情として憤る事一通りならず然れ共世間に知れては恥なれば其儘泣寢入りに濟ませんかとも考へたれど加害者に何等酬ゆる處なくして濟ますも殘念なりとて仁川署に告訴狀を提出し專ら犯人を搜索中花房町二丁目の韓人運送店雇人なる姜明浩（三二）と云ふが兼々爲子に接近せんとし居りたれば或は同人にあらずやと同日彼れを捕へ詰問中隙を窺ひて何れ共なく逃亡したれば昨今嚴探中なりと

女振り



橋口商店主婦　橋口月代子

橋口商店と云ふは本町二丁目の金物屋で御主人は卯作君と云はるゝ、明治二十年中の渡韓者で當時仁川に於て材木商を經營して御座つた間に妻君に死なれたのだが子供衆もあつたので寡夫暮しの何かに不自由な所から或る人の周旋で月代さんを後妻に迎へられたのであるとか、卯吉君は有名な節儉家で夫れは〳〵猛烈なものであると云ふ、ツイ過日まで洋燈も點けなかつた程だと云ふ人もあるが夫れこそ餘りに猛烈な惡口である、借金して迄外見を飾る必要がない以上他人に迷惑を掛けない儉約は他人が何んと云はうと關係するには及ばぬのである、月代さんは本年三十一歲卯吉君とは殆んど二十幾歲の差がある、れ產れは山口縣玖珂郡鳴門村であらるゝ、先妻の遺子方を合して十歲を頭に女ばかり三人のれ子持である、而して其の御面倒が大抵でない所へ持つて行つて卯作君との釣合を取つて行かねばならぬ、店員の世話から其の機嫌も取らねばならぬ一通りや二通りのれ働きではない此の邊の苦心は商店の夫人方でなければ想像もつかぬ、更らに御主人が六箇敷屋と云はるゝた家に於て一層だ、夫れで官舍などの夫人の如く身体に暇がない朝から寢る迄氣を使はねばならん、芝居や寄席なぞへ出掛けると云ふのは非常な奢發であるのだ、月代子さんを紹介する序を以て一般商家の夫人方に敬意を表する、月代さんの女振りは一言にして盡く曰く優しくて分つたれ方、家庭は勿論圓滿である。

●素裸体の水汲女　仁川本町四丁目居住の元金村下宿屋下女上田ラク（三〇）と云へる古今無類の美人ならぬ醜婦は廿八日の午後七時頃素裸體にて湯卷一枚の盛大道に出で約一丁を隔る共同井戸に水汲の爲め行きつゝある途中阿比留巡査に見咎められ嚴しく其不心得を論して引取らせしが由なるが實には早き七時頃而も人通り繁き本町通りを素裸體にて通るとは大膽不敵な女と云ふべし

●コソ泥棒の就縛　香川縣平民當時壽町二丁目新洞金次方同居金崎濱太郎（二九）が男女衣類數十點を携帶し二十八日午後十時頃明治町二丁目六番戸古着商林みや方に賣却に行き既に代金二十八圓にて賣却し立ち去らんとする處を南部署警官取押へ調べしに贓物は大和町二丁目通信管理官舍北村雅吉宅が二十七日不在なるを奇貨とし窃取したる旨自白せるより檢事局に送らる

●腸窒扶斯の發生　和泉町二十四番戶鐵道運輸部修繕生合宿所宮崎縣平民佐土原東一（三九）は腸窒扶斯に罹りたるより二十八日西部署より警官出張消毒を施し患者は脊拔病院へ入院せしめたりと

●轢死●　二十八日午後六時二十分大邱發列車の漢江新灘津間進行中一韓人汽鑵車に觸れて即死を遂げたりと

大相撲 三日目勝負

勝	負	勝	負
淺綠	國見野	蛇の目	駒
日本海	八甲山	佐賀海	雷ヶ浦
中入後			
大蛇潟	紫雲龍	黑瀬川	石山
近江富士	鍰川	龍ヶ崎	佐の川
八島山	土州山	兩國	梅の花
玉椿	大湊	大の川	朝汐
駒ヶ嶽	鳳	梅ヶ谷	碇潟
常陸山	國見山		
番外れ好み			
鳳	兩國		

太刀山橫綱問題

▽來夏場所まで延期

東京西方大關太刀山峰右衛門事老本彌三郎（三五）は卅四年五月幕下に附出され卅五年一月十兩にて全勝入幕し其後胃病の爲などにて今春場所迄全勝を得る機なかりしが今春場所には土付かず當場所には十日目に駒ヶ嶽と引分を取りたる外悉く勝利を得たるを以て場所後協會員中より橫綱免許の議起り明治の初年に於ける朝日嶽の例に倣ひ先づ假免狀を吉田家に申請せんとし之を常陸梅の兩橫綱に圖りたる時渡鮮の前日に當り何れも準備に忙殺せられつゝある際とて云ひ且つは全役員協議する暇なかりし爲め遂に來年五月場所迄此問題は延期せらるゝことゝなりたり、されば來春一月場所に於ける成績を如く好成績を得ば協會員にて異議を唱ふるものなく橫綱免狀授與を申請せらるべきが在京年寄中には成績拔群なる彼れに對し延引して時期を失する如き事ありては甚だ氣の毒なりとて再び協議せんとしたるも取締友綱も既に渡韓せしとて一先沙汰止みとなりたり

●龍ヶ崎と佐の川　三日目に取組んだ龍ヶ崎と大坂力士佐の川の勝負は實に大坂と東京の合格爭ひであつた佐の川は去る五月に入幕して而も其場所には四つの勝星を殘し次場所には一躍前頭の三枚目に位ひにはなれる筈である、一方龍ヶ崎は本年一月入幕して現に前頭の中軸で殆ど同じ資格であれば吾人は此角力の勝負如何に依つて東京と大坂の資格を定むる事が出來ると實は興味を以て見物して居た、處が立上るやスグ寄切つて龍の勝となり殆んど相撲にならぬ、先づ佐の川の眞價は幕下格である、之れに反し龍ヶ崎は元來怪力のある上に近來非常に相撲巧者となり最負も又中々多く努めて倦まずんば小結位にはなれぬとも限らぬ、當地の靑木堂主人抔は東京以來非常な肩入れで是非一度は三役に爲たいものだと力んで居る

大角力 五日目取組

玉の川（八甲山　佐賀海（日本海
雷ヶ浦（玉ヶ崎　紫雲龍（梅の花
近江富士（石山　龍ヶ崎（八島山
黑瀬川（鍰川　大蛇潟（佐の川
大の川（兩國・碇潟・
鳳（玉椿・士州山・
大湊・（駒ヶ嶽　常陸山
朝汐・（國見山　梅ヶ谷
れ好み（土州山、紫雲龍）

●壽座　三十日の代り番組左の如し　二八そば（金平）ゆび寫し檜獅子の曲ま（金遊齋）常盤津並に浮世ぶし（小つま）礒ぁは（市馬）世辭床（金勝）音曲手れぎり（金登喜）天野屋利兵衛之傳（花圓遊）曲藝いろ〳〵（銀治郎）尺八曲俗歌種々（花堂）探偵うどん（金馬）大切新作喜劇成功とたら〳〵

▲平民文庫▼

▲此の頃は記事が甚だしく輻輳するので存じながらの御無沙汰平に御許しを願ふ其所で本日揭記の分は休戰中投寄せられたる重要なるものなり併し中には他社へも寄せられたらんか既に希望を遂せられたる向もあるべしと思へども分明せざれば紹介す（係）▲愛兒を失ひて寂寥の念に耐わず依て乳吞子預りて養育したし御報次第參上御相談すべし　蓬萊町四ノ二五相澤●●●●▲妾は關東生れ年は二十三歲裁縫も少しは出來ます先日渡韓した斗りです口入屋に依らずして下女奉公致したし確かなる保證人もあります何卒貴紙の目ト耳の欄なりとも又は何れの欄なりへ御紹介下さる事は叶ひますまいか左すれば誠に仕合に存じます（南部三角町三番戸山內樣方鈴木）●▲萬一末だれ極りでなくば本欄係りを訪問せられたし（係）▲元黃海道谷山郵便取扱所長通信手江川彥之亟の現在所御承知の方は敎ねて下さへ（谷山生白）▲記者樣へ御尋申します私の家業は暇の有つて無い樣なものにて徒然に堪へませんから何か之れに適宜な內職でも有りましたら當欄で御敎へ下さいませんか（御凪生）▲私も考へて見ます諸君も考へて下さい（係）▲龍山の憲兵さんの職務御勉强の程は兼て聞及んで居たが此頃では人民の家屋建築に迄何の彼のと喙を容れらるゝこともあるアレデ天下が太平にならなけりや嘘だ（オセッカイ）

今日の運勢

六月卅日　舊五月廿三日　九紫●先負　丙寅　成　三りんぼ　△一白●際害多き日　踏掛愼重處辨を要す　旅行　新事　婚談に凶　△二黑●利得を受くる日とす　賣買取引進んで吉　建築　動土に忌む　△三碧●盛運日なり　但し誘獎要求愼く勿れ　△四綠●槪して厭事の日なり　家庭內の事煩累紛爭あり　△五黃●順潮の日　大抵吉　自負　潤飾を戒しむ　△六白●新事及旅行　土木建築見合せの事　取引貸借賣買　尤も注意すべし　△七赤●旅行　轉住　轉業方針　替模樣替　整理改革吉　證券の取扱注意すべし　△八白●快欣の日　大凡吉　金屬の業務には尤も適す　△九紫●離間　中絕　不和の象あり　火の元用意の事　新事旅行凶





民刑訴訟鑑定及書類の作成
登記證明查證諸願届の代書
測量製圖設計
法律の質疑應答 通信鑑定
事の大小難易を問はす依頼者の便益を圖り正廉確實迅速を旨とし凡て當事務所主責任を以て親切に其業務を取扱ふ
京城鐘路通り裁判所門前西入小路
電話一六八九番
安藤事務所
中央大學法學士 安藤和一

●朝鮮唯一の土產夏季滋養●夏痩の人は必ず飲め
賜東宮殿下御買上之榮
清國領事館御買上品
韓國京城博覽會褒狀受領ス
㊥
滋養強壯 人參飴
世界第一等の滋養品
牛乳鷄卵に優る效數倍
元祖發賣元
京城本町二丁目
井口順生堂藥房
本品は滋養劑として東洋第一と稱せらるゝ朝鮮人參を以て精製したる物にて朝鮮唯一の御土產品なり本品は殊に夏季の強壯劑として頗る適切有効なるを以て何卒一度御試用の上御好評を仰ぐ
◎特約販賣店は京城、釜山、仁川、平壤、開城、龍山、鎮南浦、元山及各地有名藥店雜貨店に於てす最寄にて御買求を乞ふ
京城本町二丁目(電話一九九番) 井口大藥房
京城大阪賣店 亀屋(本支)店
青木堂

旅館
京城南山町三丁目
京城ホテル
電話長一二三番 四九二番

日本室
特等(三圓五十錢)
一等(壹圓五十錢)
二等(二圓五十錢)
三等(壹圓五十錢)
和食
(壹圓八十錢)
(壹圓六十錢)
(二圓五十錢)
(壹圓五十錢)

增築御披露
京城南大門通三丁目光宣門側(電話一三八二番)
御待合 紅葉
四方粹客樣方の御引立に預り手狹を感じ往々折角の御運びを御斷り申候等不本意千萬に有之候に付今般改築間數も增加殊に浴室の設備も致何時にても用意罷在申候間不相變御狂駕の程奉希上候

京城明治町二丁目(佛國敎會前)
辯護士
特許辯理士
岩田仙宗
電話三五四番

移轉御披露
京城旭町一丁目小森材木店裏
御待合 住の家
電話六七六番
是迄の往の家は夏の待合としてチト鬱陶敷分けて日々に人目も繁き場所と相成候まゝ今度旭町一丁目小森材木店裏に新築の上移轉致し凡て夏向きに粹樣方の離坐敷亦は夕暗の四疊半と心をこめし設備ぶり一度御來遊の上相變らず御ヒイキを猶亦人目を忍ぶ君樣方の裏道傳へは元住の家本門通り右の小路を鹽見質店前に出て右に御曲りの上裏門よりど あるじ白す

●京城市内の御注文は遠近に不拘早速御届け仕候●
概略營業品目
和洋帳簿諸紙類
文房具學校用品
卷紙封筒手帳類
帽子洋傘クッ靴
洋服附屬品一式
メリヤス類一式
毛布膝掛馬車掛
石鹼香水齒磨類
タオル、ハンカチフ
手袋沓下袋物類
●地方よりの御注文は代金引換小包にて發送仕候●
正札 ㊀引なし
官衙、陸軍、銀行、會社御用達
京城本町四丁目
池田長兵衞
電話二百〇六番
和洋雜貨 卸小賣商

大 へ 萬
特約販賣 自製
味噌醬油製造元
漬物問屋
京城本町五丁目
大上商店
(電話二五一番)
ビール
新茶大賣出し

藤田合名會社
營業科目
和洋紙類
印刷附屬品
印刷インキ
和洋書籍
防腐デシン
穀物食鹽
諸染料類
韓官衙御用
委託販賣
東京ランバード商會代理店
東京中外アスファルト株式會社代理店
東京千代田生命保險相互會社代理店
東京博文館發行書籍特約店
東京金港堂發行書籍特約
釜山韓國合資會社書籍特約
本社 京城明治町二丁目(電話二三〇番)
出張所 東京京橋區南鍋町一丁目 東京地電話新橋三六九二番

明治廿年七月創立
東京海上運送保險株式會社
代理店 本町四 山口吳服店 電話九番
資本金一千萬圓
事務所 京城南大門通二 電話一〇六〇番

韓國銀行
當銀行は韓國中央金庫並に日本金庫事務の外預金貸金爲替等普通銀行の業務を精々確實親切に取扱申候
支店出張所
仁川、平壤、元山、大邱、鎮南浦、木浦、釜山、群山、馬山、城津、羅南、安東縣、新義州、
爲替取引先
日本(東京、京都、大阪、横濱、神戸、名古屋、四日市、下關、兵庫、伏見、東京新大阪町、大坂西區、松山、廣島、長崎、
韓國(公州、光州、晉州、全州、開城、海州、沙利院、博川、寧邊、義州、咸興、
清國(大連、遼陽、旅順口、奉天、鐵嶺、長春、牛莊、天津、北京、漢口、上海、
其他外國(香港、桑港、紐育、龍動、巴里、里昂、

高等旅館
平壤大和町
浪花館
電話一三四番

無比勉强
かや わた
蚊帳株式會社韓國代理店
吳服 太物 洋反 蒲團 調進
新案特許製綿韓國一手特約店
京城明治町一丁目
唐川商店
電話二六一番

京城明治町一丁目勸商場前(電話一二九八)
金錢貸借 電話讓渡 土地家屋 老舗賣買 人事百般 其他
周旋業
明治屋

京城相生町南門湯横(電話一二九四番)
自午前八時 至午後九時
●花柳病專門 附、痔疾一般
●入院隨意●
京城梅毒病院
院長 醫學得業士 盧田耕平